

5年 「Lesson 5 What do you like?」

(1) 活動「お気に入りのTシャツを作ろう」

① ポインティングゲーム、カルタ取りゲーム

Hi, friends!に載っている図形カードを用いて、図形探しをするゲームを行った。最初は一人ひとりのペースで、落ち着いて図形を探す時間を設けた。個人での活動の後、ペアになってポインティングゲームを行った。まずは2人で協力し、確かめながら同じカードを取り、理解を確実にした。その後、競争要素を取り入れ、素早く正確にカードを取るゲームを行った。ALTの先生の発音を集中して聞き、ゲームに取り組む姿が見られた。

② 自分のお気に入りのTシャツを作ろう

まずは、自分の好みのTシャツを作る活動を設定した。形(circle, triangle, heart, diamond, star)や色(yellow, pink, red, green, blue, purple, white, black)の飾り用パーツを、折り紙で用意しておき、お店屋さん方式で、自分の作りたいTシャツに必要な色・形の図形をもらう活動をした。Shopkeepers と customers に分かれ、「What color do you like?」「I like red.」「What shape do you like?」「I like stars.」「How many?」「Two.」などと楽しそうに活動する姿が見られた。

③ 友達のためにTシャツを作ろう

自分のTシャツを作る活動を通して、形や色の尋ね方、答え方に慣れてきた後、ランダムにペアを作り、友達のためにTシャツを作る活動を設定した。まず、ペアになった友達に、インタビューし、好きな色と形を3つずつ聞き出し、どのようなTシャツを作るかイメージをつかんだ。その後、前回の活動と同様にお店屋さん方式で、必要な色・形のパーツをもらう活動をした。集めたパーツを基に、ペアの友達のためにTシャツを作成した。



友達にインタビューする様子



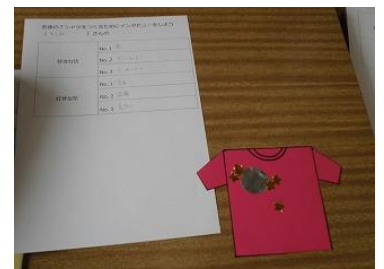
お店さんでのやりとり



Tシャツを作成する様子

(2) 成果

- 色や形、フレーズに慣れ親しむために、活動の前にポインティングゲーム、カルタ取りゲームを取り入れたことで、Tシャツを作る活動にスムーズにつなげることができた。
- ALTに積極的に活動に入ってもらったり、単語やフレーズの発音をしてもらったりしたことで、生の英語を子供達に聞かせ、一緒に声に出させることができた。
- 外国語を使いたくなるような場面設定をすることで、児童が積極的に外国語を使って活動しようとする姿が見られた。



インタビューを基に完成したTシャツ

(3) 課題

- 普段の活動でも、英語だけの指示では説明できないために、日本語で指示を出してしまうことがある。児童にできるだけたくさん英語を聞かせるためにも、担任が英語を話す量を増やしていきたい。英語と日本語を使い分けながら指示を出し、外国語を使う必然性のある場面設定をしていきたい。